

令和4年度後期学校評価(教職員アンケート)

経営支援部

質問項目	前期				後期				肯定(%)		前年度との差	考察
	4	3	2	1	4	3	2	1	R3	R4		
①基本的な人権を侵害する言動を「見逃さない、許さない」指導を徹底し、組織的に差別やいじめ防止に取り組んでいる。	77	23	0	0	85	15	0	0	100	100	0	今後も教員一人一人が人権感覚を磨き、強く意識していきたい。
②「三吾あいことば」の指導を徹底している。	62	38	0	0	48	48	4	0	100	98	-2	定着しているがマンネリ化しないように取組を工夫したい。代表委員会が主体的な取組を進めているが、全校に広まるよう意識的に声かけをしたい。
③特別活動(行事、委員会、クラブ、係等)を工夫し、児童が主体的に活躍する場を設置している。	73	27	0	0	50	50	0	0	—	100	—	感染症予防対策のために縮小されてきた活動を少しずつ復活させていきたい。
④振り返り学習を重視し、学力向上委員会が提案した内容と期間で、アウトプット学習を実施した(している)。	50	45	5	0	33	57	10	0	—	92.5	—	学力向上委員会を中心に、計画的な学力向上策を進めていきたい。
⑤自分の考えを表現する力をつけさせるなど、校内研究に沿った授業改善を実施している(計画している)。	60	35	5	0	55	41	0	4	—	95.5	—	次年度も校内研究のテーマに沿った授業改善を進めていきたい。
⑥体力調査の結果等を分析し、コロナ禍における指導方法を工夫しながら、運動能力・体力向上の取組を行っている(計画している)。	41	47	12	0	43	52	5	0	94	91.5	-2.5	体育学習発表会についてもできる範囲で工夫してきた。
⑦危機回避能力を育成するために、適切な教材を利用し効果的な防災教育を実施している。	58	42	0	0	59	41	0	0	94.5	100	5.5	後期より全体での避難訓練を再開した。今後も適切に防災教育を進めていきたい。
⑧ゲストティーチャーを活用した授業実績及び予定の回数の合計(学級あたりの回数) 4:7回以上 3:5回以上7回未満 2:3回以上5回未満 1:3回未満	0	21	29	50	0	36	32	32	22.5	28.5	6	ゲストティーチャーを活用した授業の回数は回復傾向にある。次年度もさらに工夫していきたい。
⑨サービス防止研修に際し、当事者意識をもって受講している。	95	5	0	0	86	14	0	0	100	100	0	サービス事故防止に関する意識は定着している。引き続きサービス事故0でいきたい。
⑩校内研修、OJT、朝礼講話、INAHO執筆等、各種研修に意欲的に参加している。	47	38	10	5	50	42	8	0	90	88.5	-1.5	各種研修の取組は定着してきている。
⑪上記の各種研修は、自己の資質・能力向上に効果があった(ある)。	38	52	10	0	36	44	20	0	84.5	85	0.5	ICT機器の活用、動画作成のスキルは向上した。今後も目的意識をもって取り組みたい。
⑫平均時間外勤務月45時間以内の目標を意識して働いている。	50	32	13	5	35	46	19	0	—	81.5	—	意識と実態には若干のずれがある。
⑬現在までの平均時間外勤務時間は(月当たり)? 45時間未満・・・4 45時間以上50時間未満・・・3 50時間以上55時間未満・・・2 55時間以上・・・1	48	14	33	5	47	23	15	15	—	66	—	校務改善とあわせて取り組んでいきたい。

「該当する」→4 「おおむね該当する」→3 あまり該当しない→2 「該当しない」→1